



仙台市リサイクルシンボルマーク「メビウスちゃん」



編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課
電話 214-8226

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

「食品ロス」をなくしてごみ減量 1P
クリーン仙台推進員学習会「広報研修」を開催しました 2P
仙台市環境局からのお知らせ 3P
ワケルくんの五つ星集積所診断 募集&結果発表 4P

食品廃棄物とは、食品の製造・流通・消費の段階で発生する食べ物のことです。日本ではこの食品廃棄物が年間約2800万トン発生しています。その中には、本当は食べられるのに、ごみとして捨てられている食品(食品ロス)が多く含まれており、近年特に問題視されています。



▲調査時の写真(手つかず食品)

おいしく食べて家計にやさしく「食品ロス」をなくしてごみ減量

- 【暮らしのヒント】
①買い物のコツ
・在庫をチェック
・献立を考えて
・必要な食材リストをメモしてから買い物をする
②食品保存のコツ
・葉物野菜は立てて、根菜類は新聞紙で包んで保存
③食材の使い切りのコツ
・大根の葉をおにぎりの具材に、ニンジンと皮ごと使えば栄養満点に

【フードバンクを活用しよう】

食べきれない場合は、必要としているところに食品を提供する方法もあります。様々な理由で廃棄されてしまう食品を寄付してもらい福祉施設などに無償で提供する「フードバンク活動」が広がっています。

詳しくはNPO法人ふつとばんく東北AG AIN(あがいん)
電話022-779-7150

ワケルくんの五つ星集積所診断 募集案内&結果発表

環境局職員が、プロの目で集積所の状況を診断する「ワケルくんの五つ星集積所診断」を募集します。

診断結果は「診断書」として町内会にお渡しするほか、優秀な成績を収めたごみ集積所を「五つ星集積所」として認定し、オリジナル認定証と限定清掃用具(ほうき・ちりとり)を贈呈いたします。



募集期間 5月30日(水)~11月30日(金)
募集件数 各区先着10町内会程度 1町内会あたり3カ所まで
※管理会社(管理人)が管理する共同住宅の集積所を除きます。
申:お住まいの区の環境事業所(裏面参照) 問:家庭ごみ減量課 214-8227

平成29年度五つ星集積所実施状況(全市) H30.3月現在

Table with 9 columns: 区, 応募状況(町内会数, 集積所数), 認定状況(五つ星集積所, 四つ星集積所, 三つ星集積所) with sub-columns for 町内会数 and 集積所数.

五つ星集積所診断を機に更なる環境美化活動に取り組まれている町内会が増えています。

《平成29年度五つ星集積所認定を受けた町内会のみなさんの声》

- ・ごみに係る課題は「分別・排出・周囲の環境整備」など、そのすべてが日々の生活に密接することから、この認定を契機に、住みよい・明るい街づくりを行っていききたい。
・集積所を利用している方が清掃を続けていることが功を奏して、ごみ分別や清潔維持を心掛ける習慣につながったと思う。他の集積所も五つ星に認定されるよう環境美化活動を広めていきたい。
・ごみ集積所管理は、他人任せにしないをモットーに、町内会みんなで少しずつやることにしています。今後は、更にごみ分別を徹底できるよう頑張っていきたいと思えます。
・地域の協力により、適正な排出方法とごみ減量・リサイクルに向けた取り組みを進めてきました。町内会員・非会員を問わず、集積所の清掃当番を設定し、明るく住みよい地域づくりを目指します。
・これから会員の協力を得ながら、優良なごみ集積所をたくさん育成し、地域の総合力で環境美化を目指します。五つ星認定証はその到達点を示す証と思えます。

※これまでに五つ星に輝いた町内会の写真やコメントが市ホームページでご覧になれます
⇒「五つ星集積所」で検索してください

モッタイナイレシピ

【青じそとしらすのふりかけ】
モッタイナイポイント
悪くなりがちなしそとしらすをふりかけにすることで、日持ちもしておいしく食べられます。

- 材料(1人前)
青じそ 5枚
しらす 大きじ2杯程度
塩 少々
○作り方
①青じそをこまかくみじん切りにして、塩をふってもむ。(あく抜きと水抜きを行います)
②青じそをもみこんで、キッチンペーパーで絞って水気を切ったら、ほぐす。
③平たいお皿に、青じそとしらすをまぜて、ほぐしながら並べる。
④ラップをかかると、レンジに2分程度かける。
⑤カラカラになったら、深めの小皿にうつして、塩をふって味をととのえて出来上がり。



ほかにも美味しいレシピがたくさん⇒「モッタイナイキッチン」サイトをチェック!

研修レポート クリーン仙台推進員学習会 「広報研修」を開催しました

集積所等で活用する掲示物の作成方法を学んでいただく「広報研修」を、2月6日・26日の2日間で88名の推進員の皆さまにご参加いただき開催いたしました。

講師は、仙台市内で外国人旅行者向けのパンフレットやチラシ・ポスターの制作を手がけている株式会社コミュニナの小林知博氏をお迎えし講義いただきました。



紙面の中に、たくさんのお情報を盛り込み過ぎてしまうと人の目を引き付ける力が弱くなることから、地域の実情に合わせて伝えたい内容と対象者を絞ると良いこと、更に季節感を持たせることも効果的とのことでした。

これを踏まえ、参加者には、まず、伝えたい相手や内容をまとめるために、「コンセプトシート」という用紙に「誰に」、「何を」、「なぜ」、「いつ」、「どこで」といった項目を記入して、イメージを膨らませた後に、用意した素材集などを用いて、実際にポスター作りに挑戦していただきました。

「コンセプトシート」を用いた作業に多少戸惑いもあったようですが、ポスターの作成となると、1枚の紙へ思い思いにアイデアを詰め込み、オリジナリティー溢れる、世界で1枚の作品に仕上げておりました。

作品は各地域の集積所で掲示できるようにラミネート加工をして、

お持ち帰りいただきましたので、通りがかりにポスターを見かけることがあると思います。

手作りの掲示物は、独特の暖かさがあり、人の関心を引く力があります。

仙台市では、手軽にごみに関する掲示物を作成いただけるよう、市ホームページ「ワケルネット」にてポスターのひな型や素材集をご用意しておりますので、ぜひ、ご活用ください。また、作成に際しお困りの点があれば各環境事業所までお気軽にご相談ください。



研修で作成した作品例

環境事業所の電話番号

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300

仙台市環境局 かみのみ知らせ

◆高齢者等のごみ出し支援を行っている団体に奨励金を交付します

環境局では平成30年秋ごろより、高齢や障害により、家庭のごみ出しが困難な世帯へごみ出し支援活動を行っている団体に對して奨励金を交付します。奨励金の対象となる団体の登録は夏ごろを予定しています。

問 家庭ごみ減量課214-8226

◆ダンボール式生ごみリサイクル 出前講座 受講団体募集

町内会等の地域団体の皆さまのもとへ講師が伺い、講座を行います。

●実施期間 平成30年9月30日(日)まで

- 対象 概ね10人以上の参加が見込まれる町内会等の団体(先着15団体)
- 会場 各団体でご用意ください。
- 講座時間は、質疑応答も含めて約60分、準備・後片づけに各30分必要です。
- 申込方法 電話またはFAX
- 自宅でごみリサイクルをお試しいたごたい受講者に体験モニター

セット(腐葉土25kg、米ぬか10kg、もみ殻くんたん0.5kg)を差し上げます。ただし、後日お送りするアンケートにご協力いただける方が対象です。

問・申 家庭ごみ減量課
電話 214-8229
FAX 214-8277

◆熱エネルギー有効活用支援補助制度をご利用下さい

熱エネルギーを有効に活用し、省エネを促進するための改修工事や機器導入に要する費用の一部を補助します。補助金を活用して、エコで快適な空間づくりをしませんか。

●対象機器 窓断熱改修(内窓設置、外窓交換、ガラス交換)、太陽熱・地中熱・下水熱利用システム、コーシエネレーションシステム(エネファーム、事業用)

- 申込期間 平成31年1月31日(木)まで(ただし、予算額に達した時点で受付を終了します。)
- 申請方法など、詳しくは市ホームページを「熱活」で検索いただくかお問い合わせください。
- 問 環境企画課214-8232

◆「伊達な節電所キャンペーン」を実施中です

ご家庭や事業所で昨年同時期に比べて削減した「電気使用量」や太陽光発電などによる「売電量」を投稿いただくキャンペーンを実施中です。電力会社から届く電気使用量または購入電力量のお知らせをコピーまたは撮影し、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。

- ①節電投稿 電気使用量のお知らせに掲載の「今月の使用量」と「昨年月の使用量」が確認できるもの
- ②創エネ投稿 購入電力量のお知らせに掲載の「売電量」が確認できるもの

家庭部門では毎月の投稿者の中から抽選で、電気ケトル(1名様)、エコお米セット1.5kg(1名様)、エコバッグ(3名様)が当たります!

(各月分の応募締め切りは翌月15日)応募方法などの詳細は、市役所1階「市民のへや」、各区役所、総合支所などで配布するチラシまたは、仙台市環境ウェブサイト「たまきさん」をご覧ください。

問 環境共生課214-0007

◆せんだい環境学習館・たまきさんサロン(サロン講座のご案内)

「わたしたちの「七タさん」誰かに教えたくなる仙台七タの物語」

■日時 7月7日(土)14:00~15:30

■内容 仙台七タまつりに込められた思いや四百年受け継がれてきた歴史を当時のポスターや写真、映像とともに振り返ります。新たに仙台にいらっしゃった方もずっとお住まいの方も、仙台七タについて改めて学んでみませんか。

■講師 風の時編集部 代表 佐藤正実氏

■定員 42人(抽選の場合は当選者のみご連絡)

■申込み方法 はがき、FAXまたはメールに講座名、氏名、住所、電話番号、年齢を記入し6月26日までにお申し込みください。

問・申 たまきさんサロン
仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
電話214-11233
FAX393-5038
tamaki@salon@city.sendai.jp